

# ZOOM IN

## 乙仲通

ズームイン  
おつなごおり

# リープтонエネルギー株式会社

～飛躍する New Comer～

2012年7月にスタートした再生可能エネルギーの「固定価格買取制度」によって太陽光発電を取り巻く業界は活況を帯びている。成長が期待できる新しい産業だけに大手電機メーカーはもちろん、国内外の新興メーカーも相次いで参入する玉石混淆といった状況のなか、設立わずか1年6ヵ月にもかかわらず、日本国内で既に40メガワットの実績を積み上げる新ブランドが出現し、業界内の注目を集めている。

2012年7月、神戸に設立されたリープтонエネルギー(株)は、香港に拠点を置くleapton international co.,ltd (リープトンインターナショナル)を頂点とする企業グループの日本法人で、主に中国のグループ会社において製造した「リープトンソーラー」ブランドの太陽電池モジュールを販売している。一般的なモジュールメーカーがモジュールのみの販売にとどまるのに対し、国内大手メーカー製のパワーコンディショナや監視システム、架台、ケーブルなどを含む太陽光発電システムに関連する全ての製品をトータル的に提案することで、ユーザーの様々なオーダーへの対応を可能にしたことが急成長の鍵になっている。さらに、日本国内での販売には製品自体の品質が重視されるため、「リープトンソーラー」のモジュールは取得が特に難しいと言われる日本のJET認証はもちろん、世界有数の国際的認証機関TÜV(テュフ)認証も取得しており、世界基準の品質を誇るブランドであることへの評価も高い。また、モジュールの10年間製品保証や25年間出力保証などのシステム保証についても万全の体制を整えている。

なかでも特徴的なところは、モジュールのみを購入した場合でも、そのモジュールを含むシステム全体に対し、高圧(50kw以上)は2年間、低圧(50kw以下)は10年間の自然災害補償がついてくることだろう。つまり、自然災害によって太陽光発電システムに故障や不具合が発生した場合、モジュール以外の



兵庫県明石市 1 MW

パワーコンディショナーなどの周辺機器を当社以外で購入していた場合でもシステム全体が補償対象となる。加えて、高圧タイプの場合は、修理期間にも利益保証がついてくるというアフターサービスが、ユーザーへの安心感となっている点も見逃せない。

周鳴飛(シュウメイヒ)社長は、「今までは企業の生産施設など産業用モジュールで実績を積み上げてきたが、これからは潜在需要の大きい一般住宅用太陽光発電システムも積極的に展開していく」と話す。すでに、日本全国数十社と販売代理契約を結び、北は北海道から南は沖縄県まで販売可能な体制を整えており、太陽光モジュールメーカーという存在にとどまらず、太陽光発電システムのトータルサプライヤーとして、今後、会社名の通り“leap=飛躍”が期待される。

(神戸支店情報部 松田 剛)

### 会社概要

商号：リープтонエネルギー(株) (企業コード：856006941)  
 代表：周鳴飛氏  
 住所：神戸市中央区相生町1-2-1  
 東成ビルディング6階  
 電話：078-382-3182  
 年商：約20億円(2014年3月期見込み)  
 URL：<http://leaptonenergy.jp/>

